

報道関係者各位

「第14回宝塚学検定」を開催 ～10歳から88歳までの185名が受検～

宝塚市及び(公財)宝塚市文化財団は、3月21日(火・祝)に宝塚ソリオホールにおいて「第14回宝塚学検定」を開催しました。同検定は、宝塚についての知識や愛着を深めてもらおうと、2010年から実施しているものです。

今回は、186名の申込みがあり、そのうち185名が試験に挑戦しました。受検者の年齢は10歳から88歳までと幅広く、宝塚市内在住者が多く受検しました。

試験問題は、宝塚の自然・風土・歴史・文化に関する100問。マークシートによる4肢択一式で、初級と中級は100点中70点、上級は80点、博士は85点以上で合格、毎年合格する度に「初級」「中級」「上級」「博士」とランクが上がるステップアップ方式です。問題は主に公式テキスト「宝塚まちかど学」から出題されましたが、関連企画として実施したセミナーやまち歩きからも問題が出題され、さらに、今年度宝塚市内で話題となったことなども出題されました。

受検者からは、「昨年より難しかったです」や「最近の話題がたくさん取り入れられていて良かったです。もっとニュースに関心を持とうと思われました」などの感想が聞かれ、宝塚への愛着を深めている様子もみられました。

今回は小学生が2名受検。父親と一緒に受検した小学5年生の梶川一樹さんは、「お父さんが4回目の受検で、お父さんに誘われて受検しました。問題が難しかったのでちょっと自信はありません。でも来年はもっと頑張って勉強して、また受検したいです。」と来年の受検への意欲を見せていました。

受検者には4月下旬に合否通知を郵送、合格者には認定証とオリジナルピンバッジも送付します。また、5月20日に「合格祝賀コンサート」を宝塚ベガ・ホールで開催。合格者を招待し、試験の総括や高得点者の表彰等を行う予定です。

【受検者データ】

受検者数 185名(博士受検者 95・上級受検者 19・中級受検者 24・初級受検者 47)

最高齢受検者 88歳 最年少受検者 10歳(小学4年生)

[県内] 168名(宝塚 145・西宮 3・神戸 5・三田 3・尼崎 3・伊丹 2・川西 3・猪名川 3・明石 1)

[県外] 17名(大阪 9・東京 1・神奈川 1・埼玉 1・石川 1・三重 1・広島 1・福岡 2)

【催事名】宝塚学検定

【会場】宝塚ソリオホール(宝塚市栄町2丁目1番1号 ソリオ1の3階)

【主催】宝塚市、(公財)宝塚市文化財団

【後援】宝塚市教育委員会、エフエム宝塚、宝塚商工会議所、宝塚市国際観光協会

【協賛】アサヒ飲料株式会社

【お問い合わせ】(公財)宝塚市文化財団 事業担当:林・加藤(水・日・祝休み)

〒665-0845 宝塚市栄町2丁目1番1号 ソリオ1の3階

TEL:0797-85-8844 FAX:0797-85-8873

E-mail:info@takarazuka-c.jp URL:https://takarazuka-c.jp/kentei/

